



## 古川祭～5年ぶりに通常開催



4月19日・20日に春の訪れを告げる古川祭が行われました。新型コロナが5類に移行して、5年ぶりの通常開催となりました。

晴天の中、屋台の曳き揃え、からくり人形、子供歌舞伎の奉納も行われ、多くの市民や観光客らを魅了しました。

19日の夜には「起し太鼓」。大太鼓に付け太鼓が近づこうと激しくもみ合い、熱気に包まれていました。

起し太鼓の櫓担ぎや屋台曳きには担い手不足解消の一助として、「ヒダスケ！」で募集した市外の方も参加しました。



神輿行列が町内を巡礼



子どもたちも大活躍



晴天の下、屋台の曳き揃え



無電柱化が完了した壱之町で夜祭

## 春の訪れを告げる飛騨神岡祭



飛騨三大祭の最後を飾る飛騨神岡祭が4月27日に神岡町市街地で開かれ、大勢の方でにぎわいました。

同祭は、大津神社と白山神社、朝浦八幡宮の2社1宮が執り行う例大祭の総称で、各社、正午に渡御行列をスタート。大津神社の行列では、笛や太鼓による祭り囃子が奏でられ、絢爛豪華な3基の御神輿を中心に子供神輿や奴、神楽、獅子舞、鶏鬨楽、采女、雅楽社中らが平安絵巻さながらの行列をつくりました。

本町防災公園では、各社中の伝統芸能が披露された他、大津神社や白山神社の夜の還御行列は、渡御行列とは一転し、荒々しく勇壮な行列と変わり、訪れた市民や観光客を楽しませました。



平安絵巻さながらの渡御行列



舞姫による優雅な舞い



獅子が神輿を押し戻す「お練り」



勇壮な獅子舞





市民ライターがまちの話題をお届け!! /  
広報ひだまち特派員レポート  
(特派員: 水樹 華・林 実香)



4/3 「複業人材」を行政業務に登用する  
実証実験を行いました

本業を複数抱える「複業人材」に登用する実証実験を行い、高山市在住で映像クリエイターの初野修さんと東京都在住で広報コンサルタントの鈴木菜摘さんを登用し、関係人口研究の発信を強化しました。



4/4 飛騨信用組合から市内中学校へ  
電子黒板が贈られました

飛騨信用組合が創立70周年記念事業の一環で、古川中学校と神岡中学校に電子黒板を1台ずつ贈り、4日に古川中学校で贈呈式が開かれました。大原誠理事長から下出尚弘教育長に目録が贈られました。



4/6 春到来！天神池から瀬戸川へ  
鯉の引っ越し

飛騨古川に春の訪れを告げる瀬戸川の鯉の引っ越しが行われました。飛騨市観光協会や市の職員、ボランティアらが胴長姿で池に入り、網で捕獲した鯉を軽トラックでピストン輸送し、瀬戸川へ放流しました。



4/3 「飛騨市まちの元気応援事業」など  
令和5年度報告会が開かれました

令和5年度に、まちの元気を創出する事業やクラウドファンディングを活用した事業、ふるさと納税の寄付を財源とする「まちの元気創出支援事業」を行った団体が、活動の報告や今後の展望を発表しました。



4/5 森林資源の高付加価値化と保全を  
目指し、「FM認証」「CoC認証」を取得

森林を適正に管理していると認める森林認証「FM認証」を飛騨市が、その森林から産出された認証木材を適正に流通・使用しているとする「CoC認証」を西野製材所と飛騨の森でクマは踊るが取得しました。



4/6 緊急特別企画「迫り来る地震災害  
あなたはどうする？」を開催

飛騨市防災士会が、地震対策に関するフォーラムを開催しました。富山大学の安江健一准教授、レスキューストックヤードの栗田暢之代表理事が講演を行い、市民など約300人が聴講しました。





4/6

**第10回飛騨神岡夜桜夜市が山田川河畔で開かれました**

飛騨神岡夜桜夜市が神岡町の山田川河畔で開かれ、川沿いの桜並木がライトアップされ、大勢の人でにぎわいました。今年は市制20周年特別記念事業「ちびっこお絵描きワークショップ」も行われました。



4/7

**飛騨市消防団入退団式が開かれました**

令和6年度飛騨市消防団入退団式が、飛騨市文化交流センターで開かれました。団員や消防職員、来賓など約220人が出席し、辞令や感謝状、表彰状などが手渡され、消防活動への決意を新たにしました。



4/9

**「老田屋 中華そば 減塩」が日本高血圧学会「減塩食品リスト」に掲載**

神岡町の老舗製麺所「老田屋」と飛騨市がコラボして開発した、塩分控えめでも美味しく食べられる「老田屋 中華そば 減塩」が、日本高血圧学会の減塩食品リストに掲載されたことを都竹市長に報告しました。



4/12

**みつわ農園が進学、進級のお祝いに市内の学校などにお米を贈りました**

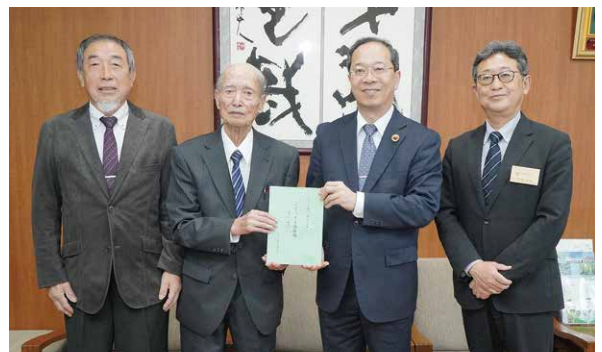
米の国際コンクールで受賞するなど高い評価を受けている(株)みつわ農園が、市内の保育園や小中学校、特別支援学校などに特別ブレンド米合わせて202キロ(約2500食分)を無償で提供しました。



4/15

**名古屋グランパスのスクールコーチが小学2年生にサッカーを指導**

プロサッカーチーム・名古屋グランパスエイトのサッカースクールのコーチが飛騨市を訪問し、古川西小学校と古川小学校の2年生児童を対象に、サッカー教室を行いました。



4/16

**ふるさと神岡を語る会が『ふるさと調べ』第24集を刊行し、市へ寄贈**

「ふるさと神岡を語る会」がこのほど、『ふるさと調べ』第二十四集「ふなつまち商店街」街並みの軌跡」を刊行し、飛騨市や市図書館などに贈呈されました。船津座などで1部1,300円で購入できます。





市民ライターがまちの話題をお届け!! /  
広報ひだまち特派員レポート  
(特派員: 水樹 華・林 実香)



4/18 「古川中マイプロ」実施に向けて  
浦崎教授らが講話

好きなことや得意なことを深めながら地域に貢献する活動「古川中マイプロ(マイプロジェクト)」の今年度の実施を前に、同校3年生128人を対象に大正大学の浦崎太郎教授がその意義などを解説しました。



4/22 中部大学の塩津裕康さんが  
小中学校などへ書籍を寄贈

中部大学生命健康科学部作業療法学科の講師で作業療法士の塩津裕康さんが、ご自身の著書『子どもと作戦会議 CO-OP(コアップ)アプローチ入門』26冊を市内の小中学校などへ寄贈されました。



4/24 県測量設計業協会飛騨地区協議会  
と飛騨市が災害応援協定を締結

災害応援協定として(一社)岐阜県測量設計業協会飛騨地区協議会の代表幹事である(株)相和コンサルタント代表取締役岡田守さんと都竹市長が協定書にサインを交わしました。



4/24 「ご当地ほりにし」岐阜県版に  
瀬戸川と白壁土蔵のデザイン採用

全国的に人気の万能調味料「アウトドアスパイスほりにし」の企画で、47都道府県の各地域でのみ入手可能な「ご当地版ほりにし」が開発され、岐阜県版のラベルに「瀬戸川と白壁土蔵」が採用されました。



4/27 大型石棒常設を記念し  
ギャラリートークを開催しました

飛騨みやがわ考古民俗館(宮川町塩屋)で、長さ約1.2mの「大型石棒」常設を記念するギャラリートークが開かれました。同館は今年度、無人開館を活用して開館日を従来の30日間から150日間へと拡大します。



4/30 河合町角川の吉澤喜さんが  
高齢者叙勲・旭日単光章を受章

永きにわたり地方自治に従事され、その発展に多大な貢献をされたとして、河合町角川の吉澤喜さんが高齢者叙勲・旭日単光章を受章され、都竹市長が勲記、勲章を伝達し、お祝いの言葉を述べました。